

連携・協働の力・タ・チ

令和2年5月8日発行 福島県教育庁会津教育事務所



「地域連携全体計画」作成の視点

～ 学校教育目標との整合性を図る ～ 昭和村立昭和中学校

各学校における地域との連携・協働が効果的・効率的に推進されるためには、地域連携担当教職員が学年主任や各教科主任等と連絡・調整しながら、地域連携の全体計画や年間活動計画を総合的に作成することが大切です。

昭和中学校では、学校教育目標との整合性を図りながら地域連携全体計画を作成しています。

そのメリットは次のとおりです。

学校教育目標を具現するために計画を作成し、連携・協働活動がどう関わっているのかを明確にすることで、各教科等における連携・協働活動が、学校の教育目標の達成につながっていることを確認することができ、指導の幅が広がります。

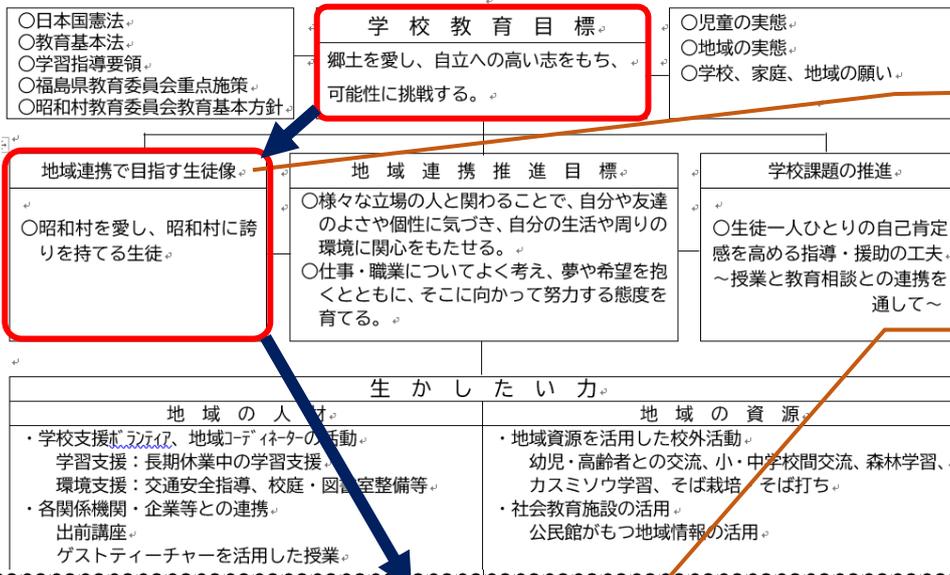
《地域連携全体計画及び年間活動計画作成の意義》

「全体計画」及び「年間計画」が
整備されることで…



- 学校の教育目標と地域との連携・協働の取組の関わりが明確になり、整合性が図られる。
- 各教科等における地域との連携・協働の目的が明確になり、カリキュラム・マネジメントの確立につながる。
- 年間を通じた地域との連携・協働を計画的且つ効果的に進めることができる。

地域連携全体計画



地域連携で目指す生徒像が学校教育目標とのかかわりで設定されています！

各教科・領域における努力点及び具体策を明確にすることで、カリキュラム・マネジメントの確立につながります！

地域連携全体計画等を作成し、教育課程に位置付けることで、計画的、組織的、継続的に地域との連携・協働した取組を推進していくことができます。県社会教育課HPには、その様式集がありダウンロードできます！

努力点および具体策〔各教科・領域等〕	
各教科	・学習内容に関連したゲストティーチャーを迎え、専門的な視点で支援していただく。 ・各教科で支援が必要とされることを集約する。
道徳	・価値観の高い経験をされた先輩を選出し、講演依頼をする。 ・内容項目にあった体験談を聞いたり、講演者とのQ & Aなどで価値を高める場面を作ったりする。
特別活動	・〔学級活動〕身近にあるボランティア活動について考える。 ・〔生徒会活動〕公民館の清掃ボランティア等を行う。 ・〔学校行事〕キャリア教育講演会、森林学習の実施。村運動会、村文化祭への参加。
総合的な学習の時間	・〔1年〕郷土についての調べ学習や体験学習を通して、郷土を愛する気持ちを育てる。 ・〔2年〕地域での職場体験等を通して、働くことの意義や目的の理解、望ましい勤労観を育てる。 ・〔3年〕大都市の産業や文化を体験する活動を通して、昭和村の良さや魅力について学ぶ。 ・〔全学年〕村の基幹産業であるカスミソウの栽培から流通までを、3年間を通して学習し、その魅力や生産状況について学ぶ。

